久しぶりの公園 @名月西公園

まだまだ残暑が厳しい日が続きそうですね。また、緊急事態宣言が解除になりましたが、安心は できず、コロナと付き合っていく日々が続きます。ご理解、ご協力よろしくお願いします。

9月はこどもまつりを開催することができました。子どもたちの楽しそうな顔が今でも忘れられ ません。でも、あるお友だちは、「おかあさんときたかったな」「おとうさんも、これたらよかっ たのにな」と、本音は公園で盛大にする"あきまつり"を、家族と来たかったという気持ちを伝えて くれました。そうだよね

②

子どもたちも、色々と我慢をしながら、日々を過ごしています。今までもこれからも、子どもた ちの貴重な成長期に、たくさんの経験ができるように、今月も計画を立てていきたいと思っていま す。

待ちに待ったこどもまつり





























うんどうあそびの目への取り組み























離かのことを思い合って





お祭りが終わった後もお祭りで 遊んだピンボールが大人気! 友だちがたくさん並んでいる姿を 見た Y ちゃんと M ちゃんは2人で ピンボール屋さんを始めました。 M ちゃんが「お店番したい」と言うと Y ちゃんが「いいよ、景品作るわ」と 役割が決まり、お店はオープンです☆



(犬の折り紙の景品を) 胸に貼る? それとも、ペットみたいに 紐付けて散歩する?

Sちゃんここに貼る







「K ちゃんお祭りの日来れなかったから、これあげるね」と言い当日、参加出来なかった友だちに景品をあげたり、一緒にお店番をしていた M ちゃんにも「お店番をしてて遊べなかったから」と言って手作りの景品をあげていました。

お祭りの日を思い出して「遊びの中でも景品を渡したい!」と思って 景品を作った Y ちゃんと「お店番は任せて」と頼もしい M ちゃん☆ お客さんに1球ずつボールを手渡して「頑張れ」「おおー入った」と声 をかけたり、一緒に喜んだりしていました。

いるかの M ちゃんがお店番で困っているとくじらの Y ちゃんが 景品づくりを中断して「みんな並んで」とサポートする姿も、、、

みんなに楽しんでもらいたいと思う気持ちを持って、自然と誰かを 思い合って助ける姿が素敵だなと思いました。経験したことを体験 へと繋げていける環境を大切していきたいと思います。



面白いが増えていく



うーん、どうしたらくっつくかな? あ!分かった!!!





スカリーノ(玩具の名前)の積み木を持ってではたちせておりの積み木を持ってではたからした。I つ目だけで高さな合いを置くとしてもうがした。自分でした。自分であるないとのでした。自分であるない。自分であるない。自分であるない。自分であるない。自然ではない。







ビー玉を転がしてみて上手く転がらなくても、ぶつかって崩れてしまっても、終わりにせず「こうしたらいいのかな?あー分かった!」と、どんどん自分のひらめきを形にして角度や高さを調整したり、組み立て直しを頑張る D くんの姿を見て、J くんも「これ、置いたらいい?」と自分の道を長くしていきます。そして、2人で「こうしたらいいんだよ」とアドバイスし合いながら遊ぶ姿がとっても素敵でした☆実は D くん先日の誕生日でこのスカリーノとよく似た玩具を買ってもらい組み立て方を知り、楽しんでいる最中なのです。自分の得意なことを友だちに教えてあげながら遊べたこと、家で遊んだ経験とこれまで、じっくり遊びこんでいたドミノや積み木遊びの経験が、このスカリーノに表れているなと感じました。





D くんはドミノ・ラ Q などを通して想像力・集中力・構成力が身に付いてきました☆ミ

刺激を受けて・・・

少し大きめの 空き箱を見つけたJくん 「これ、なんだか電車みたい」 とお絵描きを始めました。 ですが、イメージした事を どう描いていいか分からず 「うーん、Jくん描けないみた い」と諦めかけたその時・・・







Cちゃんが「私もやりたい!」と言ってくれたのでJくんは 諦めず、空き箱に絵を描き始めたのですが、

すぐにJくんのお迎えが来て帰ることに・・・

「また明日ね」と約束すると、Cちゃんは 1 人で続きを描き始めていきます。Jくんが好きな電車をイメージして半分描くと「続きはJくんに置いとくね」と、絵を描くスペースを残してくれました。







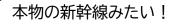
そして翌日、Cちゃんが描いた絵を見て「ライトすごいね」「ねえ、先生見て、窓もある」と大喜びです。

そして、Jくんの部分と空けてくれていた部分にJくんが絵を描き足していきます。

昨日はイメージしたものを絵に表せず諦めかけていた

Jくんですが、Cちゃんが描いた絵を見ながら真似して描いていく ことが出来てます!!! 絵を描くことは単純に楽しいというだけ でなく、子どもにとって大切な創造力や認知能力、観察力などの能 力を伸ばすことにも繋がります。

実は、J くんは絵を描くことがあまり得意な方ではありません でしたが、得意な友だちの力を借りて、ひらめきや創造力を自分の ものとして獲得していく瞬間だったように思います!





友だちと一緒なら頑張れる!



くじらさんが竹馬に乗っているのを見て「じぶんも」 と竹馬を持って来たのはKちゃん。

くじらさんより一つ年下のいるかさんです。

そんな K ちゃんの姿にすぐに気づいてくじらさん 2 人で教えています。

くじらさん「はい、足出して。前やで前。」 Kちゃん「こわい…」

「こわい」といいながらも K ちゃんはなんだか嬉しそう。 支えてもらって乗れたことを実感しているようです。

なんとか K ちゃんが乗れるようになってほしいと思ったのかくじらさん「K ちゃん、まず天狗下駄してみて」 竹馬よりも少し簡単な天狗下駄を勧めてくれました。







履き方を教わり、支えてもらって歩く練習をします。この時も K ちゃんは時々「こわい…」とつぶやきますが 天狗下駄をやめようとはしません。一人でも鉄棒を持って歩く練習をずっと続けていました。

K ちゃんが「こわい」と言いながらも竹馬や天狗下駄を止めなかったのは、 支えてくれていた友だちの存在があったからだと思います。

やってみたい気持ちを素直に受け入れて支えてくれる友だちがいたことで、K ちゃんは安心して遊ぶ事が出来て「こわい」よりも「乗れて嬉しい、楽しい!」 という気持ちを感じていたのではないでしょうか。

私もこの時の K ちゃんとくじらさんのような、子ども達の頑張る気持ちを支える存在でありたいと思いました。



10月ビジブル